

# 目 次

## 2008年度事業関係

### 事業内容報告

【1】事業活動 .....	5
B .....	13
【2】福祉事業 .....	16
【3】組織と運営 .....	20

## 2009年度事業関係

【1】本年度事業計画の概要 .....	22
【2】事業活動 .....	24

2008年度決算報告および2009年度予算 .....	28
-----------------------------	----

特定非営利活動法人 寝屋川市民たすけあいの会地域ケアセンター *2008年度事業報告と2009年度事業計画について .....	30
--	----

会 員 関 係 .....	39
*2009年度運営委員名簿	
*会員名簿	

寝屋川市民たすけあいの会会則 .....	42
----------------------	----

特定非営利活動法人 寝屋川市民たすけあいの会地域ケアセンター 定款 .....	45
--	----

寝屋川市民たすけあいの会のあゆみ .....	55
------------------------	----

## 寝屋川市民たすけあいの会

### 2008年度事業内容報告

寝屋川市民たすけあいの会は、1978年5月に設立以来、市民の手により主体的につくられた寝屋川ボランティア・ビューローを拠点として、様々な地域活動を行ってきた。

2008年度に実施した当会の事業活動概況は次のとおりである。

2008年度は、寝屋川市民たすけあいの会が発足して30年になった。寝屋川市民たすけあいの会の発足当時の原点を振り返る小さなサロンのイベントと、記念講演会とシンポジウムを実行委員会形式で開催した。また、その記念としてエントリーした日本地域福祉学会優秀実践賞を受賞することができた。

その過程の中とその後の運営委員会での議論や「つなぐ」紙上での意見募集を通して、現在のたすけあいの会の組織や事業のさまざまな課題が明らかになり、時代にあわないもの、現状にあわないものを休止したり、形を変えたりをしている。特に、会発足当時の活動の柱であった在宅ボランティア活動と中間支援的なボランティア・コーディネート（ボランティアしたい人とほしい人をつなぐ活動）をいったん休止し、再考することにしたことは大きなことである。

会の活動自体は停滞期および再考期に入っている。

以下は「たすけあいの会」が2008年度に行った事業の内容である。

# 事業内容

## 【1】事業活動

### 〔ボランティア活動〕

#### 【1】地域ボランティア活動

##### (1) 在宅ボランティア活動

活動なし。依頼はあるがお断りしている。

##### (2) 交流活動

###### ① 在宅療養者交流会

「たすけあいの会」では、1984年度より、在宅の寝たきり老人・障害者・難病患者等とその家族、およびボランティアの交流の場づくりを企画している。

2008年度の活動内容は以下の通りである。

☆ 5月25日(日)	岡崎公園	18名
☆ 11月3日(月・祝)	京都 伏見 醍醐寺	18名
	総計 のべ	36名

###### ② たすけあいサロン (ミニデイサービス)

たすけあいの会では2000年度6月より、月に1度(第1土曜日)めぐみデイサービスセンターをお借りして、ミニデイサービス(たすけあいサロン)を開催しはじめた。2001年度8月より場所を「ぼちぼちはうす」に変更し、続けている。

4月5日(土)	6名	
6月7日(土)	8名	
7月5日(土)	7名	
8月2日(土)	7名	
9月6日(土)	8名	
10月4日(土)	6名	
12月13日(土)	9名	
1月25日(日)	14名	新年会
3月7日(土)	9名	

総計 のべ 74名

### ③ 寝屋川さくらんぼの会ミニデイサービス

失語症ライブの同窓会を元に言語障害、失語症を持つ人たちの会「寝屋川さくらんぼの会」の運営への協力と各交流事業への参加を行った。さらに2001年度11月からは、めぐみデイサービスセンターにて言語聴覚士の方の協力を得、月に一度（第3土曜日）ミニデイサービスを行っている。現在は、場所を保健福祉センターに変え、言語聴覚士の専門学校生のボランティアの協力を得ながら活動を行っている。

4月19日(土)	参加者3名	家族名	ボランティア10名
5月17日(土)	参加者1名	家族名	ボランティア9名
6月21日(土)	参加者3名	家族名	ボランティア9名
7月19日(土)	参加者5名	家族2名	ボランティア9名
9月20日(土)	参加者2名	家族名	ボランティア11名
10月18日(土)	参加者4名	家族名	ボランティア12名
11月15日(土)	参加者3名	家族名	ボランティア7名
12月20日(土)	参加者2名	家族名	ボランティア7名
1月17日(土)	参加者4名	家族1名	ボランティア5名
2月21日(土)	参加者2名	家族名	ボランティア8名
3月21日(土)	参加者3名	家族名	ボランティア9名
総計	のべ参加者32名	家族3名	ボランティア96名

### ④ 「だ・が・し・や」の運営

2006年度、医療福祉機構の助成金を利用して開設をした「だ・が・し・や」。助成金の期間終了後も継続して開店している。障害当事者のボランティアと、ボランティアで開店をしていた（開店は不定期）が、ボランティアの都合などによって、今年度で閉店した。

## (3) 福祉施設などへの訪問活動

### ① 特別養護老人ホーム寝屋川十字の園

「たすけあいの会」では、1978年より毎月1回（第3火曜日）、市内の特別養護老人ホームを訪問し、清掃、縫製、お年寄りの話し相手・代筆等の活動を行っている。2008年度の活動は、以下の通りである。

	日	時	活 動 内 容	参加数
1	4月15日	10時～12時	古着の裁断。	4名
2	5月20日	10時～12時	タオル地の裁断。ガーゼ折。	3名
3	6月17日	10時～12時	古着の裁断（ダンボール1箱分）。 ガーゼ（大）折。	5名
4	7月15日	10時～12時	ガーゼ（大・中・小）折。古着の裁断。	3名
5	9月16日	10時～12時	ガーゼ（大・中・小）折。箱に納める。	3名
6	10月21日	10時～12時	ガーゼ（大・中・小）折。古着の裁断。	4名
7	11月18日	10時～12時	タオル地の裁断。ミシンぬい	3名
8	12月16日	10時～12時	ガーゼ（大・中・小）折。古着の裁断。	6名
9	1月20日	10時～12時	ガーゼ（大・中）折。古着の裁断。	5名
10	2月17日	10時～12時	ガーゼ（大・中）折。	4名
11	3月17日	10時～12時	ガーゼ（大・中・小）折。	4名

計 の べ 44名

② ケアハウス「ロイヤルライフ・カミダ」

たすけあいの会では、1994年3月より市内のケアハウス「ロイヤルライフ・カミダ」への訪問を開始し、施設の清掃、デイサービスの補助、散歩、買い物の介助などを行っている。主に、木曜日は施設内の清掃、金曜日はデイサービスの補助を行っている。年々、活動は停滞している。

総計3回 3名。

お花見のボランティアに2回 2名 大掃除に1回 1名

ロイヤル祭 9月7日（日） 4名

がお手伝いに行かせていただいた。

③ デイサービスセンター輝きのまち（ケアハウス池田）

たすけあいの会では、1996年度の10月より市内のケアハウス「輝きのまち ケアハウス池田」併設のデイサービスセンターへの訪問を開始し、週1回木曜日に特別浴の着脱のお手伝いを行っている。また、1997年度10月より月曜日にもデイサービスのお手伝いを行っている。

総計 9回 9名

ふれあい祭 11月8日 4名

がお手伝いに行かせていただいた。

④ めぐみデイサービスセンター

市内のデイサービスセンター。これまでもいろいろなつながりがあったが、一昨年度半ばに、新たに定例の訪問の依頼があり、隔週金曜日、訪問・活動を行った。

総計8回、ボランティアは合計のべ8名。

⑤ 寝屋川保健所主催行事への協力

☆神経系難病者交流会「ひまわり会」への参加

月に1回開かれる大阪府寝屋川保健所主催の「ひまわり会」でボランティアとしてお手伝いさせていただいた。合計12回 のべ15名

## 【2】需給・連絡調整・相談活動

### (1) 需給調整活動

	V求む	Vしたい	一般相談	その他	計
受付件数	19	12			31

\* ボランティア求むには、はじめはボランティアがほしいという相談であっても、その後、制度、サービスにつないだものもふくむ。

\* 各プログラムへの直接のボランティアの参加はカウントしていない。

### (2) 連絡調整

① 在宅難病患者地域ケア推進会議

寝屋川市内の在宅難病患者の地域ケアにかかわる関係機関の職員によって行われることになった在宅難病患者地域ケア推進会議に出席した。

② 精神障害者自立支援促進会議

精神病院への入院が長期化している精神障害者に対し、保健・医療・福祉の関係機関が連携して支援計画を樹立し、退院・地域での自立を支援する方策や地域システムを検討をする会議。以前行われていた精神保健福祉合同委員会を吸収するような形で行われている。

③ ボランティア連絡協議会

寝屋川ボランティアセンターの登録グループの連絡協議会へ参加。ボランティアセンター、他のグループとの相互理解・情報交換を進めた。

### (3) 相談活動

① シニアサポートセンターめぐみの第三者委員に任命されている。

### 【3】ボランティアへの援助、当事者活動への支援

#### (1) ケース検討会の開催

「たすけあいの会」では、在宅サービス活動に関わるボランティアへのフォロー・アップとして、毎月ケース検討会を開催している。個々のケースについてのボランティア相互の意見交換と、コンサルタントによる専門的助言を通して、活動の円滑な推進をはかった。また、関係機関との連絡調整の場にもなっている。

在宅ボランティアケースがなくなったこと、個人情報保護の観点から、今年度半ばで休止した。

内容は以下の通りである。

	日 時		活 動 内 容	参加数	関係機関からの参加
1	4月28日	14:00～16:30	継続ケースと新規ケースの報告と検討	6名	
2	5月26日	14:00～16:30	継続ケースと新規ケースの報告と検討	8名	安川CW 北原CW
3	6月23日	14:00～16:30	継続ケースと新規ケースの報告と検討	7名	
4	7月28日	14:00～16:30	継続ケースと新規ケースの報告と検討	5名	
5	8月25日	14:00～16:30	継続ケースと新規ケースの報告と検討	4名	北原CW (小松)
6	9月29日	14:00～16:30	継続ケースと新規ケースの報告と検討	5名	
7	10月27日	14:00～16:30	継続ケースと新規ケースの報告と検討	4名	
8	12月22日	14:00～16:30	継続ケースと新規ケースの報告と検討	5名	
9	1月26日	14:00～16:30	継続ケースと新規ケースの報告と検討	6名	

★CW…ケースワーカーの略。PHN…保健師の略。CM…ケアマネージャーの略。

#### (2) ボランティア・サロンの開催

ケース検討会が休止したこともあり、またボランティア同士の交流の機会が減っていることから、ボランティアの活動報告と交流を目的に新しく開始した。

3月25日 8名参加

#### (3) ろうきんパートナーシップ

大阪ボランティア協会と労働金庫が共催しているボランティア推進プログラムの受け入れ先を8年前から行っている。今年度も受入はなかった。

#### (4) グループ援助活動（当事者団体支援）

##### ▶カンガルー倶楽部

1992年10月「子育てのお母さんたちへ」の講演会を機に発足。若いお母さんたちのグループ。毎週1回、子どもたちの遊び、お母さん同士の交流を中心に活動を続けている。また、会報も発行している。

ビューローとしては連絡調整、会場・備品の提供などをおこなっている。

##### ▶寝屋川難病連絡会

96年度の5月12日に、市内の難病団体および難病者のための寝屋川難病連絡会の発足総会が行われた。現在月1回の運営委員会が行われている。当会はその事務局として、連絡調整、広報、会場・備品の提供などを行っている。

##### 総会

10月19日(日)に行われた寝屋川難病連絡会第14回総会にボランティアとして2名がお手伝いさせていただいた。

・寝屋川市障害者長期計画策定協議会への当事者委員としての参加  
障害者基本法に位置付けられた寝屋川市障害者長期計画の策定協議会に推薦、参画した。

・地域難病連絡会の開催

大阪難病連絡会が8月24日(日)に行われた。当日2名がボランティアとしてお手伝いさせていただいた。(ヘルパー6名参加)

##### ▶障がい者の自立を考える会「やじろべー」

車いす利用者の4名を中心に自分たちの自立生活を考える会として発足。障害者自立に関することを考えながら、特に余暇的な活動を中心にされている。

##### ▶精神障害者地域交流事業への協力

精神障害者地域交流事業を行っている「Club E&T」(旧ひなたぼっこの会)の運営への協力と各交流事業へ参加した。事務局も昨年に引き続き担当。月に1回定例で運営委員会も行われている。2008年度のClub E&Tの活動

##### ① Club E&T 運営委員会 (関係機関が集まって会議)

開催数：11回 参加数：90名 \*内当事者0人

##### ② ふれあいの会 (当事者が中心にイベントを企画する会議)

1) 会議 開催数：12回参加数：111名 \*内当事者86人

2) イベント(当事者中心に企画されたイベント)

開催数：4回 参加数：41名 \*内当事者37人



3) チラシ編集会 (広報活動。イベント案内やチラシの作成をする会)

開催数: 12回 参加数: 40名 \*内当事者26人

③ 講演会 (「WRAP」について)

講師: 阪本 明子氏 (久留米大学病院精神科ソーシャルワーカー)

日時: 7月26日 場所: 寝屋川保健所

参加数: 59名 \*内当事者29人

④ 就労のつどい (現在就労している、また就労を希望するひとが集い交流をする場)

日時: 9月20日 場所: 寝屋川市産業振興センター 第1セミナー室

参加数: 32名 \*内当事者25名

⑤ 春の遠足 (大阪府堺市「ハーベストの丘」)

日時: 3月22日 場所: ハーベストの丘

参加数: 24名 \*内当事者18名

総計回 のべ397名 (\*うち当事者数221名)

【4】教育・啓発活動……………30周年記念講演会

① 30周年記念講演会&シンポジウム(6/29)

「寝屋川市民たすけあいの会の30年の活動から地域福祉、市民活動の原点を考える」

上野谷加代子さん (同志社大学教授、寝屋川市民たすけあいの会前代表)

シンポジウム「多様な市民のたすけあい、暮らしあいをつなぐ

—とともに生きる地域づくりをめざして—」

《コーディネーター》

守本友美さん (皇學館大学教授・寝屋川市民たすけあいの会運営委員)

《シンポジスト》

佐野章二さん (有限会社ビッグイシュー日本代表)

清水明彦さん (西宮市社会福祉協議会・障害者生活支援グループグループ長)

大谷秀之さん (社会福祉法人ならのは理事長)

冨田昌吾さん (寝屋川市民たすけあいの会)

入場者: 100名弱

② 日本地域福祉学会(6/14,15)

日本地域福祉学会実践優秀賞を受賞した。それにともない、実践の発表を日本地域福祉学会で行った。

③ 岡本栄一先生とたすけあいの会の30年を語る会(4/29)

参加者：11名

【5】広報活動

(1) 会誌「つなく」の発行 6回

\* B 5版、手書き、10ページ 900部 (隔月刊)

★身体障害者刊行物協会の出版として第3種郵便物の認可を受けて発行

(2) ホームページの公開

<http://homepage3.nifty.com/neyagawatasukeai>

【6】見学・来訪・交流、調査の依頼、実習生の受入

(1) 見学・来訪・交流

ビューローを訪れた方 のべ176名

(2) 実習生・インターシップの受入

京都文教大学より1名 精神保健福祉士の実習を受け入れた。

B.

① そるどみ (SOL DE DOMINGO) の開催

障害の有無にかかわらず、地域子どもたちとボランティアと一緒に遊ぶ活動を2006年10月より開始。2008年度の登録メンバーは8名。毎月第1日曜日に「すだち」を拠点に活動を行っている。

4月	6日(日)	メンバー5名	ボランティア	11名
5月	4日(日)	メンバー4名	ボランティア	11名
6月	1日(日)	メンバー7名	ボランティア	7名
7月	6日(日)	メンバー7名	ボランティア	11名
8月	3日(日)	メンバー7名	ボランティア	10名
9月	7日(日)	メンバー7名	ボランティア	8名
10月	5日(日)	メンバー8名	ボランティア	9名
11月	2日(日)	メンバー5名	ボランティア	8名
12月	7日(日)	メンバー6名	ボランティア	12名
1月	4日(日)	メンバー2名	ボランティア	8名
2月	1日(日)	メンバー1名	ボランティア	7名
3月	1日(日)	メンバー3名	ボランティア	9名
総計				のべメンバー62名 ボランティア111名

## 中学生版

そらどみを卒業した中学生のこどもたちを対象にしたプログラムを試行的に開催した。

11月	24日(月)	メンバー2名	ボランティア	4名
1月	5日(月)	メンバー2名	ボランティア	2名

### ② びっくりおもちゃ箱の開催

たすけあいの会が以前行っていた障害児の遊びのプログラム。ボランティアと障害児の遊びのプログラムとして、関係機関・学校に広報し行った。2005年度まで3年間行ったが、いろいろなニーズや方向性を検討し、2006年度は、開催しなかったが、2007年度は、久しぶりの出会いと新しい出会いをテーマに、夏休みのプログラムとして改めて開催した。

8月18日(月) メンバー3名、ボランティア11名が参加をした。

3月25日(水) メンバー1名、ボランティア4名

8月に参加された子どもさんのフォローアップとして10月から月に1度個別の遊びのプログラムを行っている。

### ③ 研修：そらどみリーダートレーニングを開催

2月11日(祝・水) 参加者 7名 総計 のべ参加者7名

### ④ フィリピンのソーシャルワーカーとつながる

フィリピンの障害児支援をしているNGOにかかわりをもつスタッフの発案で、アジア人権基金「草の根イベントサポート」助成をいただき、フィリピンのバギオという都市で活動をしているソーシャルワーカーの方を寝屋川におよびすることになった。そのための準備学習会を行った。

2009年3月6日(金) 参加者 8名

★寝屋川市社会福祉協議会の「ふくし発見プラン」助成金を申請し、新しい取り組みとして、以下の2つの取り組みを行った。

### ⑤ カフェ放送「てれれ」

大阪市にある映像発信「てれれ」という団体が展開をしている取り組み。

「てれれ」は今まで表現や情報発信の場から遠くにいた人たちが、自分達のメディアを持ち、発信していける状況を作っていくことを目的としている。その中の一つの取り組みであるカフェ放送「てれれ」=市民から届いたショー

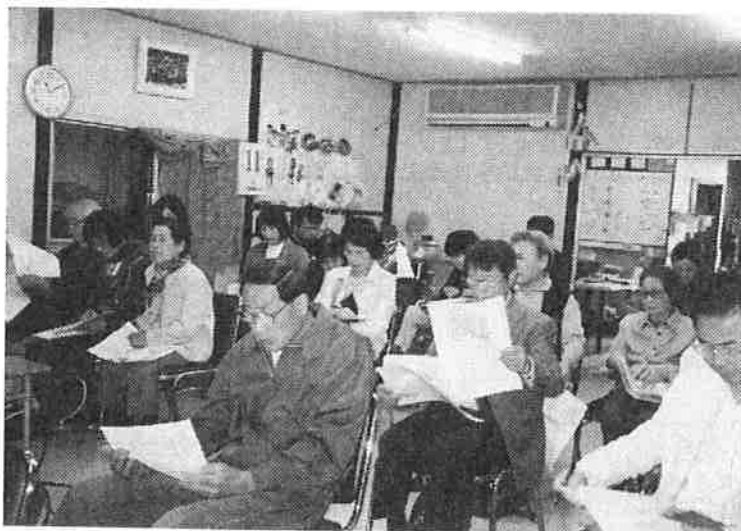
ト映像作品を約1時間のプログラムに繋いで、カフェ・街の画廊・市民活動センターなど人の集まる所で定期上映しています = を、スタッフやボランティアさんとともに見る会を開催した。

2008年	9月30日(火)	参加者5名
	11月19日(木)	参加者6名
	12月15日(月)	参加者5名
2009年	1月19日(月)	参加者4名
	2月25日(水)	参加者5名
	3月16日(月)	参加者7名

### ⑥ インプロ・パーク

インプロヴィゼーション(即興)とは、もともと俳優養成の場で使われる即興劇のこと。その方法論を使い、世界中で、いろいろな場面のワークショップで利用されるようになってきている。その人の存在を丸ごとそのまま認め合い、受け入れ合う経験を、インプロ(即興劇)のゲームを通じて積み重ねることによって、開放的で、ポジティブで、心地よいコミュニケーションを楽しむ。東京からファシリテーターの方をお呼びし、開催した。

2009年	3月28日(土)	参加者11名
	3月29日(日)	参加者6名



「定期総会」

## 【2】 福 祉 事 業

### 〔1〕 社会参加活動センター「ぼちぼちはうす」

障害のある方の豊かな日中活動を行っていただく場として、「ぼちぼちはうす」を2000年10月より開設した。2003年度春に、障害者共同作業所の認可ではなく、寝屋川市の基準該当の身体障害者デイサービスとして運用することになった（1名の知的障害の方の相互利用を含む）。

2006年度は障害者自立支援法により制度的な存続の危機であった。2006年3月19日の毎日放送「映像06」でぼちぼちはうすが取材・放送された。それに伴って行った存続・拡充のための寄付活動により、117人の方から288万2100円の寄付をいただいた。その寄付を活用して、従来のぼちぼちはうすの横を新たに借りあげ改装し、ぼちぼちはうす新館を開設した。

障害者自立支援法制度下で2006年度は、上半期は「障害者デイサービス」として、下半期は「経過的デイサービス」と「重度障害者等包括支援事業の一部」として運営をした。

2007年度より、市の委託事業として旧障害者デイサービスの移行種別である「地域活動支援センターⅡ型」と「重度障害者等包括支援事業の一部」として運営している。

利用時間は9：50～16：10である。重度障害者等包括支援事業の対象の方が4名、地域活動支援センターⅡ型の登録の方が16名（うち、「ゆる・りろ」4名、「風ride(プライド)2名、パラデロ2名、その他1名含」となっている。今年度になって、ようやく地域活動支援センターⅡ型の定員の目安である15名をクリアした。

見学・来訪者は106名、ボランティアはのべ136名であった。

	対象者像	プログラムなど	利用者数
ぼちぼちはうす	重度障害者等包括支援	個別プログラム	別記
	重度身体障害者・知的障害者		のべ 510名
ゆと・りろ	精神障害者 (主に統合失調症)	食事サロンなど	のべ 176名
風 ride	重度身体障害者	自立生活支援センター準備会	のべ 241名
パラデロ	高次脳機能障害者など	リハビリ、パソコン・園芸・紙すきなど	のべ 233名

### ① 「ゆと・りろ」(精神障害者ユニット)

「食事」を中心としたプログラム。メンバー間で献立を考え、買い出しをし、調理等も役割分担をするプログラム。仲間やボランティアも交えて楽しく美味しく食事を囲んで過ごす内容のもの。一人一人が役割を持ち自分らしいスタイルで過ごすことを目的している。現在、登録者数4名。2008年度のべ利用者は176人。ボランティア91名

開催曜日	第2,3,5月曜日(AM)	火曜日(AM)(PM)	木曜日
プログラム名	情報PPP	AM ランチ皇子 PM 甘味党の会	ランチ王
内 容	パソコンについてみんなで勉強する場です。ブログを作ったりします。	栄養バランスの整ったお弁当を注文し、簡単なみそ汁を作り食べます。 サロンの(座談会)な場でヘルシー&簡単なお菓子をつくったり、簡単ストレッチなどをして、みんなとゆっくりした時間を過ごします。	献立から買い出し、調理。そしてもちろんおいしくご飯も食べちゃいます! 一人ひとりがオーナー兼シェフになります。

### ② 風ride (プライド)

自立生活支援センターづくりをめざして活動をしている。メンバーは2名。2008年度は、自立生活プログラム(中級編)10, 11, 12月の3回 自立生活支援センターたかつきの斎藤雅子さんをお呼びして開催。(初級編)をメンバー2人がリーダーとなり、2月より開催している。毎月、第4日曜日に「語ろう会」も開催している。

### ③ パラデロ

今年度よりはじめた高次脳機能障害の方を主に対象としたプログラム。リハビリ的な要素を取り入れ、紙すきや古切手を使った画づくり、園芸などの作業やパソコンなどをおこなっている。

## 〔2〕 ヘルパーステーション「ほっと」

### ① 介護保険・訪問介護事業

2004年度4月より、介護保険の訪問介護事業を基準該当サービス事業者として開始、これまでの在宅ボランティア活動の延長として行い始めた。2005年8月に介護保険の事業を基準該当ではなく、府の認可に変更したが以降のケースはなく、今年度の9月にて廃止した。

## ② 障害者居宅介護事業

2002年度より、精神障害者の居宅介護等事業をはじめた。2003年度より、身体障害、知的障害児者の制度が支援費制度になり、身体障害、知的障害児者のホームヘルプ（身体介護・家事援助）の事業も開始した。

2006年度は、障害者自立支援法による改正があり、現在は、居宅介護(身体、知的、精神、障害児)、重度訪問介護(全身性障害)、行動援護(知的、精神)、重度障害者等包括支援事業と、市の委託により移動支援事業を行っている。移動支援は、報酬単価が低く、重度の方への対応が難しいため、対象の方には、重度訪問介護や行動援護に利用替えをしていただくようお願いしている。

2008年度在宅サービス実績（上段／下段は2007年度）

	利用者数	回数	時間
居宅介護	3人 (3人)	466回 (408回)	1345時間 (1,029時間)
重度訪問介護	5人 (5人)	389回 (445回)	2900時間 (3,206時間)
行動援護	4人 (3人)	275回 (139回)	990時間 (515時間)
移動支援	26人 (26人)	456回 (548回)	2501時間 (3,028時間)
重度障害者等包括支援事業	5人 (5人)		9624時間 (9,713時間)

※ 法人事業の「ヘルパーステーションほっと」と「ぼちぼちはうす」の苦情解決第三者委員については、追手門学院大学講師の古川隆司さんをお願いしている。

## 〔3〕 寝屋川市障害者相談支援事業の委託運営

2002年度より、寝屋川市より市町村障害者生活支援事業の委託を受け、寝屋川市民たすけあいの会地域生活支援センターを運営している。制度の改正に伴い、10月からは、大阪府の指定相談支援事業所となり、また、寝屋川市の委託相談支援事業所になった。

難病者ピアカウンセリング …………… 毎日  
 視覚障害者ピアカウンセリング …………… 毎月第4土曜日  
 肢体不自由者ピアカウンセリング …… 週3日  
 聴覚障害者ピアカウンセリング …………… 聴覚言語部会の取り組みに補助

総合相談件数／連絡調整件数 1550件

さらに、相談支援機能強化事業の委託を受け、主に、ネットワーク推進員として、寝屋川市地域自立支援協議会の運営に参画している。

精神障害者自立支援会議、寝屋川市就業・生活支援準備センター運営委員会・実務者連絡会などの会議にも参加している。

★ 障害者自立支援法にかかる障害程度区分審査会への審査員としての派遣  
障害者自立支援法の介護給付のサービスを受けるにあたり、認定審査を受ける必要がある。二次審査として審査会が設置され、その審査員としてスタッフを派遣している

★ 社会的ひきこもり社会参加支援

昨年度まで、府が行っていた社会的ひきこもり社会参加支援グループ事業を実施していた。

府内2カ所で行われているこのモデル事業の1カ所を委託をうけ実施している。社会的ひきこもりネットワーク会議からの推薦で7名の方の支援を行った。モデル事業は、2007年度で終了。その後も活動を続けている。

#### 〔4〕 移送サービス事業

9年前、市内の住民参加型在宅福祉サービスを手がけていた団体が解散することになり、その団体が日本財団から、もらいうけていたリフト付きの軽ワゴン車を譲渡されることになった。また、2001年2月には、新たに日本財団より車輜（マツダ・デミオ）の寄贈を受け、2003年2月に「24時間TV愛は地球を救う」よりハイエースの寄付を頂いた。2007年度初めに、会員より、中古乗用車（トヨタ・ラウム）を、2007年度末に、新たに、日本財団より軽車両（三菱ミニキャブ）を寄贈いただいた。合計現在5台の車輜を保有している。

以前より、病院などへの車での移送、送迎は在宅ケースとして対応していたが、車の譲渡を機に、リフト付き軽ワゴンの貸出およびこの車を利用した移送ボランティア（前掲）による移送を行っていた。しかし、国の方がNPO等による移送サービスの制度化を進めており、その動向を見ていくため、一時期移送サービスそのものを休止した。2005年度、半ばに運営協議会の結成に伴い、NPO法人有償移送（いわゆる道路交通法80条適用移送）の申請を行った。2008年度は5回の運行を行った。

情報などの収集のために関西STSに参加している。

その他、当会行事、当会事業、「ぼちぼちはうす」による運行を行っている。



## 【3】 組織と運営

### 1. 会 員

#### (1) 会員数 = 会費納入者

2009年3月末現在

	個人会員	団体会員	注) 数字のカウントの仕方
07年度までの会員	186名	20名	→ 2007年度会費納入者数
08年度 加入者	13名	0名	→ 新規および復活者数
08年度 退会者	28名	8名	→ 退会および2008年未入者数
会 員 数	171名	12名	
総 会 員 数	183名		→ 2008年会費納入者数

#### (2) 会員へのサービス

- 1) 会誌「つなぐ」の送付 6回
- 2) ボランティア保険への加入 (一部会員のみ、会費より)

#### (3) 会員交流会 = 「コスモス」

日 時 11月22日 (土)  
場 所 神戸 花鳥園  
参加者 8名

### 2. 組織活動 (敬称略)

#### (1) 定期総会

日 時 2008年5月11日 (日) 10:45~12:10  
場 所 ぼちぼちはうす  
議 題 1) 2007年度事業報告及び決算報告の審議・承認  
2) 2008年度事業計画及び予算計画の審議・承認  
3) 2008年度役員選出  
4) 特定非営利活動法人 寝屋川市民たすけあいの会地域  
ケアセンター

2007年度事業報告および2008年事業計画

出席者 115名 (委任状提出者86名、非会員3名を含む)

#### (2) 運営委員会

毎月第1月曜日 13:30~16:30

運営委員：黒田民子、上野谷加代子、田中哲次郎、別所訓子、中尾京子、  
西尾美津子、橋本義郎、森川加代、村井謙太、守本友美

主な議事 事業の企画と調整

(3) 事務局

事務局体制 事務局・有償ボランティア 毎週金曜日

(4) 職員

2008年度の常勤職員。

村井謙太、冨田昌吾、中務飛鳥、福井美奈子、西岡寛信、花戸音羽(2009年3月で退職)、藤本祥平、大村静香、山田久美子、大島亜弓、  
三国洋子・近藤由美子(常勤ヘルパー)、  
吉田智里・山野仁美(休職)

### 3. 財源の確保

(1) 会員及び寄付(略)

(2) バザーの開催

A) ぼちぼちバザール(主催：7団体の参加)

日にち：7月13日(日)

場 所：総合センター1階

売 上：67,940円

当日のボランティア7名

B) ロイヤル祭

日にち：9月7日(日)

場 所：ロイヤルライフカミダ

売 上：10,000円(駄菓子、手作り品)

12,600円(たこ焼き)

たこ焼きの売り上げ12,600円寄付頂きました

C) エコ・フェスタ

日にち：11月16日(日)

場 所：打上川治水緑地公園

売 上：6,500円

(3) 特別事業

1) 印刷事業

95年度より、大阪府福祉基金により購入した印刷機を利用し、印刷事業を行なっている。2003年印刷機を買い換えた。

2) イオンの行っているイエローレシートキャンペーンに参加した。